

1 授業の約束

- ① 休み時間のうちに、授業の道具を机の上にそろえます。授業に必要なものは、机の中にしまえます。
- ② チャイムが鳴り終わると同時に、学級代表委員が号令をかけ、授業を開始です。
- ③ 授業に関係のないおしゃべりはしません。発言は先生の指示があつてからにしてください。
- ④ 筆箱の中に、鉛筆（シャープペン）・消しゴム・赤ペン・青ペンを必ず入れておきます。色鉛筆は指示されたときに持ってきます。
- ⑤ 宿題が出たときは、必ず必要な教材を持ち帰ってください。
- ⑥ 忘れ物に注意。忘れた場合は必ず先生に報告します。
- ⑦ 先生が説明しているとき、誰かが発表しているときは、そちらを向いて聞くことに集中します。
- ⑧ 板書（先生が黒板に書いたこと）は、必ずプリント・ノートに書き写します。

2 プリントの作り方、取り方

- ① 詳しくは授業中に説明しますが、先生が黒板に文字を書くとき、大事なところは黄色で書きます。プリント・ノートに写すとき、黄色で書かれたところは青ペンもしくは赤ペンで、自分が大事だと思うところは青ペンもしくは赤ペンで下線を引くと、見やすいです。
- ② 余裕のある人は、板書を写すだけではなく、先生の説明や、疑問に思ったことなどを余白に書き込むと、学習の効果が上がります。
- ③ 定期考査の前や受験勉強で見直したときに、学習したことが思い出せるプリントが良いプリントです。
- ④ プリントは各学期にチェックを行います。その際は番号順にして提出してください。なお、無いプリントやプリントに空欄等がある場合は評価が下がります。

3 家庭学習の仕方

- ① 社会科のあつた日は、家に帰ってノートに学習内容を書き出してみましょう。その後、プリントを開いて、自分の書き出した内容に補足や修正をしましょう。その際に、間違っていた部分を消しゴムで消すのではなく、二重線等を記入して、自分がどこを間違っていたかを確認できるようにしましょう。その間違っていた所が、自分が十分に理解できていなかった大事な所です。わからないところがあつたら、次の日、先生に質問しましょう。
- ② 地図帳をながめたり、歴史の本（漫画もあり）や新聞を読んだり、TV のニュース番組や旅番組を見たりするのも、社会科の勉強になります。世の中のいろいろなことに興味を持ち、考えてみましょう。

4 学習の評価について

* 評価は次の3観点です。授業中の行ったすべてが評価対象になります。

「知識・技能」 … 授業中の作業、提出物、プリント、定期考査など

「思考・判断・表現」 … 授業中の発言・発表、提出物、プリント、定期考査など

「主体的に学習に取り組む態度」 … 振り返りシート、授業態度、授業中の発言・発表、提出物、プリントなど

5 その他

社会科は暗記教科ではなく、考える教科です。考えるために日々いろいろな事に疑問や関心を持ってください。